

2013年度

広島国際大学 チャレンジプロジェクト 成果報告書

いのちのそばに。ひととともに。

HiU

常翔学園

広島国際大学



うちらがこの業界をかえるんじゃけえプロジェクト2

提案団体：TEAM C.W.S with 八木ゼミ

代表者：医療福祉学科 4年 松本 雄介

顧問：医療福祉学科 講師 八木 裕子

実施計画

パートナー：広島市域通所サービス連絡協議会

実施期間：2013年9月1日（日）～2014年2月18日（火）

計画概要：東広島市内17施設の介護事業所に学生が取材を行い、学生目線の情報公開を行う。

奨励金額：90,400円

活動目的：介護事業所のホームページから得られる情報は少なく、欲しい情報が得られないことで、実習先や就職先の選定をする際に、マッチングエラーがおきている現状がある。そこでホームページ（以下HP）の作成に挑戦し、その中で事業所の既存のHPのネットワークを構築し、それを学生や求職者に役立ててもらいたいと考えた。

達成目標：学生自身が事業所の取材をし、コンテンツを作成することで、より『表情』が見える介護現場の情報発信を目指したい。

活動・成果報告

学生が介護事業所を取材訪問し、学生目線の取材記事を作成し、各事業所の許可を得たうえで、パートナー団体が管理する既存のネットワークに投稿し、学生や一般の求職者の方に見ていただけるように広島国際大学のHPへ活動内容を紹介していただいた。また、ピラを大学内に掲示するなどの広報活動に取り組み、少しでも、学生や一般の求職者に役立ててもらえれば良いと思う。今後、継続して活動範囲を拡大し、たくさんの方に見てもらわなければならないと思う。広報活動もフェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワークサービス）を用いて、続けていきたいと考えている。

成長度

1. どのような課題に直面し、（それを乗り越えるために）どんな苦勞がありましたか。

HP投稿後の広報活動について、どのようにすればたくさんの人に、活動結果を伝えることができるのかという課題があった。そのために、本学の企画課に協力を要請し、活動内容を取材していただき、大学のHPに掲載していただいた。また、介護事業所にHP投稿許可をいただくのに時間がかかってしまい、投稿が遅れるという課題もあった。スピードを速めるためメール等の情報交換の手段を用いたが、社会人のマナーとして、直接足を運び交渉しなければならないと事業所の方に教えていただき、大学の講義などでは学ぶことができない貴重な体験をすることができた。



2. その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

パートナー団体や、学生課の方に相談に乗っていただきながら、学生同士でも、どのような方法が良いか、話し合いの場を設け、様々な課題を乗り越えることができた。また、広報活動においては、医療福祉学科の広報担当の方に協力していただき、このプロジェクトの活動内容を取材してもらい、大学のHPに掲載していただき、多くの学生に閲覧する機会を得ることができた。そして、プロジェクトを進めていく過程で、多くの社会人としてのビジネスマナーを知ることができ、計画をスムーズに進めることや、今後の将来のためになると感じた。

3. 自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

一からプロジェクトを計画し、実行する難しさを学ぶとともに、このプロジェクトを通じて、様々な企業の方たちと関わることや繋がることの重要性を学ぶことができた。様々な事業所の方たちと交流または繋がることで、多くのサービス内容に関する知識や、利用者の方を一番に考える姿勢や、それぞれの施設の特徴を理解することができ、自分たちの将来について考え、情報収集する力と自分の学んだことを情報発信する力が身についた。

学生や一般の求職者は、つつい給料や福利厚生だけで就職先を決めがちだが、それぞれの施設の特徴や、自分のしたいことを照らし合わせることができれば、離職率を下げることができると感じた。そして、まだ誰も同じような活動をしている学生がいないことで情報が少なく、新しいことにチャレンジすることで、課題は多くありましたが、今回だけでなく次の世代に継続してこの活動を行ってほしいと強く思った。



職員にインタビューしている様子



4. 企画に参加したパートナーからの感想や気づき

我々、広島市域通所サービス連絡会は、産官学の連携により介護現場から介護の業界を変えるべく活動する職能団体です。介護現場で働いている者たちが困っていること、それは情報の発信と収集です。我々は、自らの介護事業所の情報発信を学ぶための勉強会やプレゼンテーション大会を行う中から、学生さんたちも共通する悩みをお持ちでは？と考えておりました。今回の取り組みが学生さんの今後にも、そして我々介護現場で働く者たちへ、大きな一歩を踏み出すきっかけになったのではないかと信じております。

広島市域通所サービス連絡会 会長 梅田 晶 様

構成メンバー

医療福祉学科 4年 松本 雄介、石橋 奈積、田中 里美、日高 拓史、渡辺 将史、兼島 圭吾、
要田晴香、甲斐 匠、神田 真志、鳥根 有貴、古本 元、山脇 光沙、
渡辺 栄美、中古 紗矢、廿日出 翔太、吉倉 万紀子、清水 裕貴
医療福祉学科 3年 住吉 春香、中村 果歩、木下 沙紀奈、寺西 禮司、久保 奈津美、
徳永 紗也香、大下 真、松浦 洋介